

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(304)(HP 収載) —イル・ジャルディーノ・アルモニコ(1)—

1. 始めに

前報(303)に引き続き、STAGE+のイル・ジャルディーノ・アルモニコの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のイル・ジャルディーノ・アルモニコの演奏を選びました。

イル・ジャルディーノ・アルモニコがイタリアのバロック作品を演奏
ヴィヴァルディの作品を中心に

収録日: 1999年1月1日

イタリアを代表する古楽アンサンブル「イル・ジャルディーノ・アルモニコ」。

1985年に結成され、古楽器による演奏で17世紀や18世紀以前の音楽を広く紹介し、作品の魅力と真実を伝えてきました。とりわけヴィヴァルディ作品の演奏によって知られる彼らの音楽は楽曲に込められたドラマ性を鮮やかに示し、バロック音楽が本来持つ劇的な部分を伝えてくれます。本映像では同アンサンブルが得意とするヴィヴァルディの作品をはじめ、様々な魅力的なバロック音楽の世界をお楽しみいただくことができます。

ソリスト:

ジョヴァンニ・アントニーニ(フルート)、エンリコ・オノフリ(ヴァイオリン)、マルコ・ビアンキ(ヴァイオリン)、パオロ・ベスキ(チェロ)、ルカ・ピアンカ(リュート)、ルカ・グリエルミ(チェンバロ)

演奏:

イル・ジャルディーノ・アルモニコ

曲目:

ダリオ・カステッロ

《現代的なソナタ・コンチェルターテ》第1巻よりソナタ第4番

ジョヴァンニ・バッティスタ・スペーディ

《別れのとき》の調べによるディミヌツィオーネ

ジョヴァンニ・アントニーニ(フルート)、ルカ・グリエルミ(チェンバロ)

ピアージョ・マリーニ 《ソプラ・ラ・モニカ》より3声のソナタ

ダリオ・カステッロ

《現代的なソナタ・コンチェルターテ》第1巻よりソナタ第10番

タールキニオ・メールラ チャコーナ
アントニオ・ヴィヴァルディ リュート協奏曲ニ長調 RV 93
アントニオ・ヴィヴァルディ フルート協奏曲ニ長調 RV 428 『ごしきひわ』
アントニオ・ヴィヴァルディ フルート協奏曲ロ短調 RV 104 『夜』



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッキング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッキングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、下記のとおり、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

イル・ジャルディーノ・アルモニコというイタリアのバロックアンサンブルにジョヴァンニ・アントニーニのフルート（ロックフレーテにも持ち替え）が加わった演奏です。

ヴァイオリンのエンリコ・オノフリは演奏会で聴いたことがあります。

弦はガット弦のようで、チェロ、リュート、チェンバロの通奏低音が加わっています。

古典的な編成ながら、このグループのバロックの演奏は前衛的で、アップテンポの

演奏です。

ヴィヴァルディの フルート協奏曲ニ長調《ごしきひわ》やフルート協奏曲ロ短調《夜》はお馴染みですが、印象はこれまでと違い近代的なスタイルです。

映像は収録場所だけでなく、屋外演奏のイメージ映像もあり、忙しく転換します。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、イル・ジャルディーノ・アルモニコというイタリアのバロックアンサンブルにジョヴァンニ・アントニーニーが加わった古典的な編成ながら前衛的でアップテンポの演奏が聴けました。

以上